

日上市庁舎安全対策計画の概要

～水害に対する防災拠点機能の強化を目指して～



庁舎安全対策計画
ホームページ

お問合せ先
総務課 庁舎担当
☎ 22-3111
内線291

令和5年9月8日、台風第13号の影響により線状降水帯が発生し、本市観測史上最大となる1時間当たり9.7ミリの雨量を観測するなど、記録的な大雨となりました。

市役所本庁舎では、庁舎の西側を流れる数沢川と平沢川の合流地点からの溢水によって、大量の水が地下に流入し、電源設備に被害が生じました。

この災害を教訓に、市民の拠りどころとなる本庁舎の防災拠点機能の強化を図ることを目標として、近年の激甚化・頻発化する様々な災害を想定した計画を策定しました。

本計画の策定に当たっては、浸水対策等の専門的な有識者で構成する「日上市本庁舎浸水対策に関する在り方検討ワーキング」において、最高水準の知見による安全性の検討を行いました。

計画のポイント

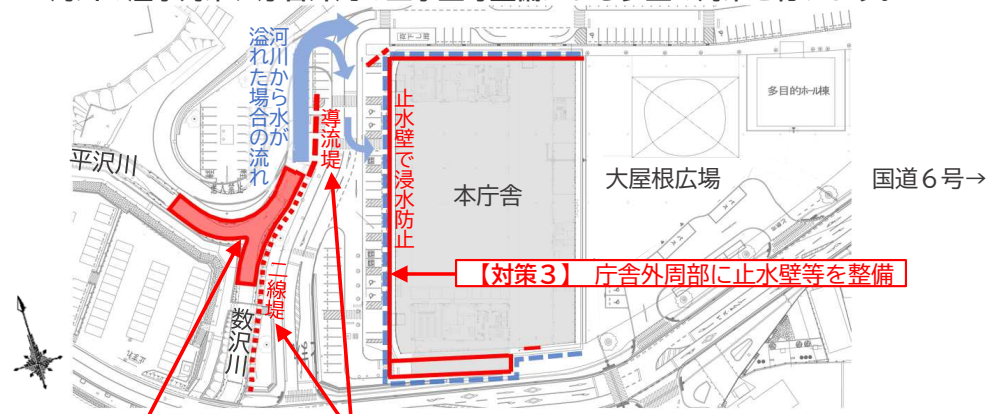
- ◆ 本庁舎は防災拠点となる重要施設であるため、国のガイドラインに適合した対策を行います。
 - ◆ 国が定める1時間当たり15.3ミリの国内最大級の豪雨を10%割り増した16.8ミリの降雨に対しても、庁舎内への浸水を防ぎます。
- ※ 国土交通省「気候変動を踏まえた治水計画のあり方提言」では、気候変動により平均気温が2℃上昇した場合、降雨量が10%増加すると予測しています。

1 庁舎の止水化対策

- 【対策1】 河川の溢水対策として、河川合流部を改修します。
- 【対策2】 溢水した水が庁舎に向かわないように堤防（二線堤・導流堤）を整備します。
- 【対策3】 庁舎1階及び地下階への浸水対策として、庁舎外周の水防ライン（庁舎内への浸水を防止する境界線）上に止水壁等を整備します。

※対策の解説については、2ページをご覧ください。

河川の溢水対策、庁舎外周の止水壁等整備による多重の対策を行います。



- 【対策1】 河川合流部の改修
 - 【対策2】 堤防（二線堤・導流堤）の整備
- 二線堤…数沢川の護岸の外側（東側）に整備する堤防 - - - 水防ライン
- - - 導流堤…二線堤の延長線上と庁舎側に整備する堤防

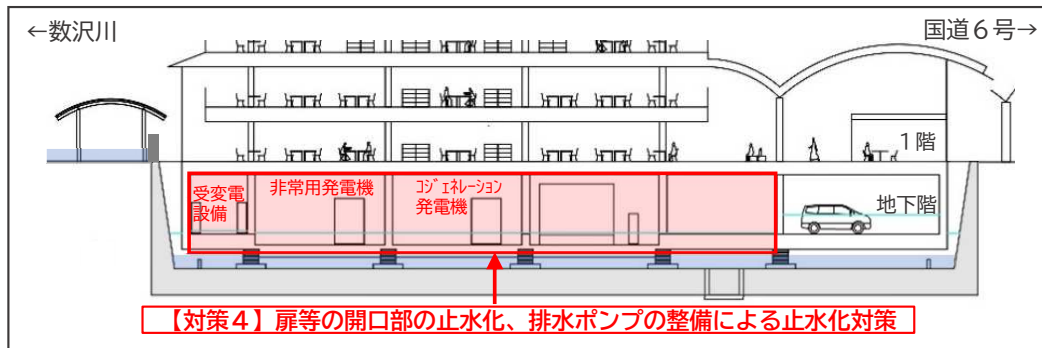
2 万が一を想定した庁舎地下階の止水化対策

【対策4】 扉等の開口部の止水化、排水ポンプの整備による止水化対策を行います。

庁舎外周部の止水壁等で庁舎内への水の侵入を防ぐことができませんが、万が一、止水壁等が機能せず、庁舎地下階が浸水した場合も想定し、多重の対策として地下階の止水化対策を行います。

ポイント

- ◆ 万が一、地下階が浸水した場合でも、電源設備等への被害を防止します。
- ◆ 国土交通省「防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン」「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」に適合した対策です。



3 多重の安全対策の考え方（まとめ）

対策1	対策2	対策3	対策4
河川護岸の線形をT字型からY字型にし合流区間の河床を掘り下げて流れをスムーズにします。	堤防（二線堤・導流堤）の整備によって、河川から溢水した水が庁舎に直接流れないようにします。	庁舎外周の水防ライン上に止水壁等を整備し、庁舎1階及び地下階への浸水を防ぎます。	万が一、地下に浸水した場合も想定し、地下階の止水化対策を行い、電源設備を守ります。

水害版不動産レジリエンス認証(ResReal)の最高評価を取得しました。

このたび策定した日上市庁舎安全対策計画は、(一財)日本不動産研究所より、不動産レジリエンス認証の最高評価プラチナ(PLATINUM)の認証を受けました。



日上市庁舎安全対策計画の概要
令和6年10月

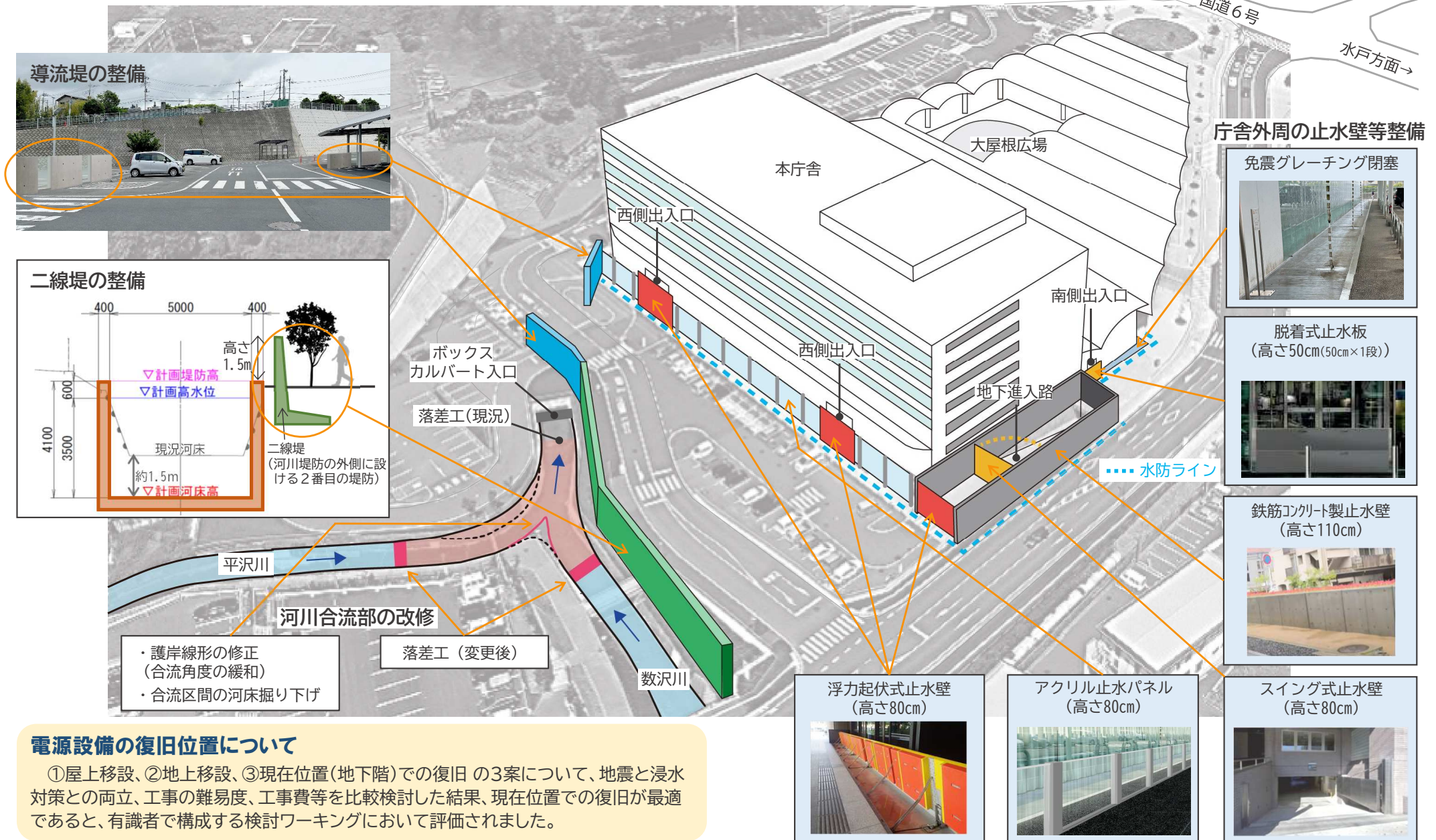
編集・発行 茨城県日上市総務部総務課
〒317-8601 茨城県日上市助川町1-1-1
TEL: 0294-22-3111 IP: 050-5528-5034

庁舎の止水化対策に関する解説

河川の溢水対策として、河川合流部の改修、堤防(二線堤・導流堤)の整備を行います。

また、庁舎1階及び地下階への浸水対策として、庁舎外周の水防ライン上に止水壁等を整備します。

万が一止水壁等が機能せず、庁舎地下階が浸水した場合も想定し、多重の対策として地下階の止水化対策を行います。



電源設備の復旧位置について

①屋上移設、②地上移設、③現在位置(地下階)での復旧の3案について、地震と浸水対策との両立、工事の難易度、工事費等を比較検討した結果、現在位置での復旧が最適であると、有識者で構成する検討ワーキングにおいて評価されました。